

赤瀬雅子教授略歴および著作目録

赤瀬雅子教授略歴および著作目録

〔I〕略 歴

生年月日 昭和8年11月25日

出身地

東京都新宿区早稲田南町4番地

学 歴

昭和21年 奈良県立富雄北国民学校卒業

昭和27年 東京都立駒場高等学校卒業

昭和32年 早稲田大学第一文学部文学科卒業

1960年9月 バリ大学文学部比較文学専攻入学

1962年6月 バリ大学同学部同専攻中退

昭和42年 早稲田大学大学院文学研究科博士課程満退

主な略歴

昭和42年 日本比較文学会東京支部幹事

昭和43年 桃山学院大学経済学部専任講師

昭和43年 日本比較文学会関西支部幹事

昭和45年 桃山学院大学経済学部助教授

昭和49年 桃山学院大学経済学部教授

平成元年 日本仏学史学会理事

平成3年 日本比較文学会理事

平成5年 桃山学院大学大学院文学研究科設立に伴い同大学院同研究科演習担当教授

平成6年 桃山学院大学国際文化学会会長

平成8年 日本比較文学会評議員

平成11年 桃山学院大学大学院文学研究科博士課程設立に伴い同課程演

習担当教授

平成16年3月 桃山学院大学定年退職

4月 桃山学院大学名誉教授の称号を受ける

その他

平成2年11月 第4回物集索引賞受賞

〔Ⅱ〕 著作目録

I 著書

1962. 7 『文芸読本 石川啄木』（荒正人編）「世界の啄木 フランス」を
執筆 河出書房
1968. 2 『森鷗外必携』（稲垣達郎編）「作品解題」を執筆 学燈社
1971. 11 『日本近代小説—比較文学的に見た—』（中島健蔵・太田三郎・福
田陸太郎編）第3章「作家と作品の研究 永井荷風」を執筆
清水弘文堂
1972. 6 『比較文学』（吉田精一・武田勝彦・佐渡谷重信編）第2編「各論」
中の第10章「フランス文学と永井荷風」を執筆 潮文社
1972. 11 『批評と研究 芥川龍之介』（稲垣達郎・伊藤整監修）「芥川龍之
介主要作品ノート」を執筆 芳賀書店
1972. 11 『谷崎潤一郎研究』（荒正人編）Ⅲ「特別研究」中の「荷風と潤一
郎」を執筆 八木書店
1976. 4 『永井荷風とフランス文学』 荒竹出版
1976. 6 『新攷荷風文学』（種田政明編）「荷風におけるポエムの夢」を
執筆 飛鳥書房
1977. 6 『近代文学 3 文学的近代の成立』（三好行雄・竹盛天雄編）「23
大逆事件と文学」を執筆 有斐閣
1977. 6 『ジャンル別比較文学論』（日本比較文学会編）「書簡体小説」を
執筆 カルチャー出版
1979. 2 『横浜フランス物語 文明開化あ・ら・かると』（富田仁編）「フラ

- ンス文学に描かれた横浜」として「想像の横浜—ヴェルヌ『八十日間世界一周』・体験の横浜—ロティ『秋の日本』・極東の港—漂白の文学」を執筆 産業技術センター
1979. 2 『日本の近代文学』（和田繁二郎監修）第2部「現代の文学（昭和）」の中の第2章「現代文学の展開と挫折」のうち「転向文学」・「昭和10年前後」、および第3部「補遺」のうち「日本近代文学と外国文学」を執筆 同朋舎
1983. 12 『比較文学の展開 新しい文学史のために』研究叢書Ⅰ 桃山学院大学総合研究所
1984. 5 『日本近代文学と西洋』（佐藤孝己・富田仁編）第1部第3章「日本におけるフランス文学の影響」を執筆 駿河台出版社
1985. 8 『15年戦争の証言』（桃山学院大学教員有志）「下田から奈良へ」を執筆
1986. 5 『永井荷風—比較文学的研究』 荒竹出版
1986. 7 『明治のフランス文学—フランス学からの出発』富田仁との共著 第2部「明治文学におけるフランス文学の影響—小説・詩・戯曲・評論」を執筆 駿河台出版社
1988. 7 『街角のフランス語』（富田仁・村岡正明編）「エスプリ」編、「テアトル」編等の10項目を執筆 駿河台出版社
1990. 1 『古代地中海世界三千年の旅』（山川偉也編）「アテネのタベルナ」他、7項目を執筆 ヘルメス書房
1990. 2 『永井荷風の読書遍歴—書誌学的研究』志保田務との共著 十にわたる各章の解説を執筆。また読書項目のフランス文学に関するものに注をつける。 荒竹出版
1995. 3 『永井荷風「溼東綺譚」作品論集成』第2巻（高橋俊夫編）「『溼東綺譚』におけるピエール・ロティの影響」を執筆 大空社
1995. 10 『比較文学・比較文化—フランス文学・文化の影響』研究叢書Ⅴ 桃山学院大学総合研究所

1995. 12 『比較文学を学ぶ人のために』（松村昌家編）第9章「永井荷風とフランス」を執筆 世界思想社
1998. 6 『わが道を歩む 東京編上巻』（辻文章編）「人間の絆」を執筆 文教図書出版
1998. 10 『フランス語の祭典 国際フランス語教授連合第9回世界大会記録』（加藤晴久他編）第2部「フランス語の祭典 表舞台」のうち「日仏交流のあけぼの—文学」を執筆 朝日出版社
1998. 11 『永井荷風とフランス文化—放浪の風土記』 荒竹出版
1998. 11 『女性の生き方 私の場合』（辻文章編）「故郷を愛して」を執筆 文教図書出版
1999. 5 『わが人生論 全国版』（辻文章編）「コスモポリタンへの道」を執筆 文教図書出版
1999. 12 『私の少年少女時代』（辻文章編）「先行世代への感謝を籠めて」を執筆 文教図書出版
2000. 4 『モリエール集 明治翻訳文学全集 新聞雑誌編23』（川戸道昭・榊原貴教編）「明治翻訳文学と私 フランス文化と明治期日本」を執筆 大空社
2000. 8 『私の戦争体験 最後の記録』（辻文章編）「流離の記録」を執筆 文教図書出版
2001. 8 『20世紀の日本 人生記録全集第1巻』（辻文章編）「ふたつの愛—祖国日本とフランスと」を執筆 文教図書出版
2002. 12 『人の道 私の社会規範』（辻文章編）「人に勇気を与える言葉 人の勇気を挫ぐ言葉」を執筆 文教図書出版
2003. 12 『芥川龍之介の読書遍歴 壮烈な読書のクロノロジー』（志保田務・山田忠彦・赤瀬雅子編著）「解説」執筆に関わり、また、全体のフランス語文献の注を見る。 学芸図書
2004. 3予定 『戦争の記憶』（辻文章編）「精神の傷を超えて」を執筆 文教図書出版

Ⅱ 論文

1964. 5 『ふらんす物語』に表れた象徴派詩人達の影響
『東横学園女子短大紀要』第3号
1965. 1 回想の翻訳大衆文学
『国文学臨時増刊大衆文学のすべて』第10巻第2号
1965. 3 永井荷風におけるモーパッサンの影響について
『早稲田大学比較文学年史』第1号
- 1965.10 『あめりか物語』におけるモーパッサンの影響
『東横学園女子短大紀要』第4号
- 1965.11 カルチエラタンの若者達とサルトル
『本の手帖49号特集サルトル研究』第49号
1966. 3 『西遊日誌抄』にみられるフランスへの憧憬について
『本の手帖特集第53号作家の日記』第53号
1966. 6 永井荷風に於けるゾラの影響について
『早稲田大学比較文学年誌』第3号
1967. 7 『問はず語り』試験—ピエール・ロティの影響を中心として—
『早稲田大学比較文学年誌』第4号
1969. 3 『廣津柳浪』試論—硯友社及び「今戸心中」を中心として—
『早稲田大学比較文学年誌』第5号
1971. 3 『伊勢物語』における「もののあはれ」の考察
『桃山学院大学人文科学研究』第7巻第1・2号合併号
1972. 3 永井荷風におけるアンリ・ド・レニエの影響について
『早稲田大学比較文学年誌』第8号
- 1972.10 岩野泡鳴におけるディアボリシズムの影響—「悪魔主義の思想と文芸」を中心として—
『桃山学院大学人文科学研究』第8巻第1・2号合併号
- 1973.11 岩野泡鳴におけるシャルル・ボードレールの影響—「発展」の中の詩を中心として—

- 『桃山学院大学人文科学研究』第9巻第1号
1974. 12 『溼東綺譚』におけるピエール・ロティの影響
『桃山学院大学人文科学研究』第10巻第1号
1975. 3 書簡体小説の対比的研究—「万の文反古」及び“Les liaisons dangereuses”を中心として—
『桃山学院大学人文科学研究』第10巻第2号
1975. 12 続・永井荷風におけるアリ・ド・レニエの影響について—“Esquisses vénitienes”及び“L’altanaou la vie vénitienne”を中心として—
『桃山学院大学人文科学研究』第11巻第1号
1977. 3 岩野泡鳴の戯曲の一側面
『桃山学院大学人文科学研究』第12巻第2号
1978. 5 紅葉と西洋文学 『解釈と鑑賞 紅葉・露伴・一葉』
1978. 7 尾崎紅葉と西洋文学—「東西短慮之刃」及び「八重襷」を中心として—
『桃山学院大学人文科学研究』第14巻第1号
1979. 12 荷風文学の志向するもの—アンリ・ド・レニエの影響を中心として—
『桃山学院大学人文科学研究』第15巻第2号
1980. 9 荷風の文体の考察
『桃山学院大学人文科学研究』第16巻第1号
1980. 12 荷風初期文体の特質
『桃山学院大学人文科学研究』第16巻第2号
1982. 12 『夢の女』の成立まで—エミール・ゾラの影響の完成—
『桃山学院大学人文科学研究』第18巻第3号
1984. 8 フランスの日本文学研究者訪問(1)—クロード・ジェルトレルさん—
『書誌索引展望』第8巻第3号
1984. 11 フランスの日本文学研究者訪問(2)—フランク・ダルマス氏—
『書誌索引展望』第8巻第4号
1985. 2 フランスの日本文学研究者訪問(3)—ジャック・レヴィさん—
『書誌索引展望』第9巻第1号

1985. 5 フランスの日本文学研究者訪問(4)—ピジョー先生とブリュネ先生—
『書誌索引展望』第9巻第2号
1985. 12 『冷笑』試論—ピエール・ロティ及びアンリ・ド・レニエの影響の融合—
『桃山学院大学人文科学研究』第21巻第2号
1987. 3 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その1)—荷風の読書遍歴書誌1—(共著)
『総合研究所報』Vol. 12 No. 3
1987. 7 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その2)—荷風の読書遍歴書誌2—(共著)
『総合研究所報』Vol. 13 No. 1
1987. 12 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その3)—荷風の読書遍歴書誌3—(共著)
『総合研究所報』Vol. 13 No. 2
1988. 3 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その4)—荷風の読書遍歴書誌4—(共著)
『総合研究所報』Vol. 13 No. 3
1988. 7 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その5)—荷風の読書遍歴書誌5—(共著)
『総合研究所報』Vol. 14 No. 1
1988. 12 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その6)—荷風の読書遍歴書誌6—(共著)
『総合研究所報』Vol. 14 No. 2
1989. 3 大正期作家の読書遍歴に関する書誌的研究(その7)—荷風の読書遍歴書誌7—(共著)
『総合研究所報』Vol. 14 No. 3
1990. 1 原景としての故郷—永井荷風とアンリ・ド・レニエ—
『桃山学院大学人文科学研究』第25巻第2号
1991. 7 関西とフランス—文学を通してみた「堺事件」—
『国際文化論集』No. 4
1992. 3 中村真一郎とフランス文学—古典理解におけるフランス文学の影響—
『人間科学』第3号
1992. 6 永井荷風の批判精神—『断腸亭日乗』にみる韓国観を中心として—
『総合研究所紀要』Vol. 18 No. 1
1992. 12 若い日の芥川龍之介
『整理技術研究』第31号
1993. 2 孤独への軌跡—永井荷風の79年—
『鳩よ』第11巻第2号

1994. 1 日本近代文学にみる船旅—魯文, 荷風, 前田河, 岸田—
『人間科学』第6号
1995. 1 描かれた上海—1900~1931
『国際文化論集』No. 11
1995. 1 大正のフランス文学—近代文学のベレポック—
『人間科学』第8号
1995. 7 近代文学にあらわれた女性像—フランス文学・文化の影響による
ヒロインの誕生—
『人間科学』第9号
1996. 1 岸田国土の一側面—フランス派台詞劇の運命—
『国際文化論集』No. 13
1996. 3 芥川龍之介終焉期の読書：1927年の芥川龍之介の読書遍歴—迫り
来る時代の不安に耐えかねて—
『総合研究所紀要』Vol. 21 No. 3
1997. 3 永井荷風におけるアンリ・ミュルジェールの影響—ボエームへの
憧憬—
『人間科学』第12号
1998. 7 永井荷風に見る都市構造の反映—パリのパッサージュ・クヴェー
ル
『人間科学』第15号
2000. 3 永井荷風と都市景観—アンリ・ド・レニエのヴェネチア観の影響
—
『国際文化論集』No. 21
2000. 12 久生十蘭とフランス文学・フランス文化—『十字街』を中心とし
て—
『人間科学』第20号
2002. 7 堀辰雄試論—比較文学的考察—
『桃山学院大学総合研究所紀要』Vol. 28 No. 1

Ⅲ 辞典, 事典

1965. 11 現代日本文学大事典 明治書院
1978. 1 比較文学辞典 東京堂出版
1978. 3 日本近代文学大事典 講談社

1980. 5 基本文芸用語辞典 荒竹出版
 1985. 12 芥川龍之介事典 明治書院

IV 書評

1965. 11 『二葉亭四迷資料』 『比較文学年誌』
 1973. 9 ポール・ヴァン・ティーゲム著富田仁訳『比較文学』
 図書新聞 第1229号
 1973. 10 ポール・ヴァン・ティーゲム著富田仁訳『比較文学』
 『日本比較文学会会報』第75号
 1974. 6 橋本稔著『谷崎潤一郎（そのマゾヒズム）』 図書新聞 第1269号
 1974. 11 福田光治他編『欧米作家と日本近代文学フランス編』
 図書新聞 第1290号
 1975. 3 高橋俊夫著『荷風文学の知的背景』 図書新聞 第1306号
 1976. 3 村上英俊著富田仁他復刻『佛語明要』 週間読書人 第1120号
 1980. 7 小田桐弘子著『横光利一（比較文学的研究）』
 図書新聞 第1530号
 1981. 5 竹浪祥一郎著『素晴らしい瞬間を』 『遠点』第18巻第5号
 1988. 7 種田政明著『荷風残映』 東和新聞 第2564号
 1990. 6 竹浪祥一郎著『続素晴らしい瞬間を』
 『桃山学院大学広報』第43号
 1994. 3 山川篤著『花袋・フローベール・モーパッサン』
 『比較文学』第36号
 1995. 4 高島邦子著『20世紀アメリカ演劇—アメリカ神話の復活—』
 『日本比較文学会関西支部ニューズレター』第12巻第1号
 1997. 2 高橋俊夫著『西鶴文学考』 『国際文化論集』第15号
 1997. 3 荷風を論じた3冊の著書をめぐって
 『早稲田大学比較文学年誌』第33号

IV 学会報告

1997. 1 国際フランス語教授連合第9回世界大会についての報告
『総合研究所紀要』Vol. 22 No. 2

V 文献目録

1966. 11 『日本現代文学全集・講談社版62豊島興志雄岸田国土芹沢光治郎集』 講談社
1966. 12 『日本現代文学全集・講談社版42小川未明田村俊子水上滝太郎集』 講談社
1967. 3 『日本現代文学全集・講談社版78林芙美子平林たい子集』 講談社

VI 年表

1967. 3 『日本現代文学全集・講談社版78林芙美子平林たい子集』 講談社
1974. 10 『漱石研究年表』 荒正人編 集英社

VII 翻訳

1964. 10 ニコラ・クラランス「収容所の記録あれから20年」
『フェアレディ』第3巻第9号
1971. 11 ジャン＝マリー・グルニエ著『ショパン』 音楽之友社
1984. 6 ジョルジュ・ジャンダルム・ド・ベボット著『ドン・ジュアン伝説』(序論及び第1章) 『総合研究所報』Vol. 10 No. 1

VIII テキスト

1974. 4 ポール・ヴァン・ティーゲーム『比較文学』 邦光書房

IX 学会および博物館発行の冊子への小論

1975. 5 夏目漱石と早稲田南町界隈 『明治村通信』第59号

1975. 8 続夏目漱石と早稲田南町界限 『明治村通信』第62号
 1983. 10 牛込矢来町界限 『明治村通信』第180号
 1985. 7 永井荷風と上海 『明治村通信』第182号
 1992. 4 種田政明の系譜 『明治村通信』第282号
 1995. 5 比照文学と比較文学 『層』第59号

X 個別研究冊子への小論

1978. 6 荷風と南欧 『荷風研究』第73号
 1981. 9 関西の荷風研究家 『荷風研究』第86号
 1982. 6 1冊の本をめぐって 『荷風研究』第89号
 1984. 9 最近の文学研究方法の考察から 『荷風研究』第96号
 1986. 4 仏詩人ノエル・ヌエットと荷風 『荷風研究』第100号
 1987. 3 最近の荷風研究から—『日本の聖と賤近代編』—
 『荷風研究』第102号
 1991. 3 随想 書誌と比較文学—方法の提言—
 『JCLA 関西支部ニューズレター』第3巻第1号
 1993. 4 ヴェネチアの祝祭
 『JCLA 関西支部ニューズレター』第5巻第1号
 1995. 12 『溼東綺譚』をめぐって 『日本比較文学会会報』第143号

XI 研究ノート

1989. 7 大正の比較文学の可能性
 『桃山学院大学人文科学研究』第25巻第1号
 1993. 3 成島柳北—儒学と江戸文芸とフランス学
 『桃山学院大学人間科学』第4号
 1993. 8 ファム・ファタルと舞踏—芥川とメリメに関連させて—
 『国際文化論集』第8号
 1994. 8 時を操る港横浜—横浜を凝視した作家群像—

『国際文化論集』第10号

1994. 12 芥川文学における都市—芥川龍之介の読書書誌研究から得たもの—
『総合研究所紀要』Vol. 20 No. 2

1995. 7 書誌学的研究の一傾向—書誌研究より誕生した書物—
『総合研究所紀要』Vol. 21 No. 1

1995. 11 河竹黙阿彌—過渡期の作者の文体とその系譜の意義—
『国際文化論集』No. 12

1996. 7 東西演劇にみる悪の美—河竹黙阿彌とモリエール—
『人間科学』第11号

1996. 9 現代舞踊史の一側面—ラテン・アメリカからヨーロッパへ—
『国際文化論集』No. 14

1997. 12 都市研究の一側面—ロデンバックとビュートルからの触発—
桃山学院大学『総合研究所紀要』Vol. 23 No. 2

1999. 7 ふたつの『落葉日記』—岸田国土に根づいたジャック・コポー理
論—
『人間科学』第17号

2000. 12 関西とフランス—谷崎潤一郎の言葉との出会い—
『国際文化論集』No. 22

2001. 7 『ふらんす物語』試論—リヨンのトラブールを背景とした物語の
成立について—
『人間科学』第21号

2002. 12 フランスの各地—文化の断面図—
『経済経営論集』第44巻第3号

2003. 7 江戸東京 アラカルト—隅田川と永井荷風—
『人間科学』第25号

XII 雑誌・新聞論文

1967. 8 作家と外国—比較文学的考察— 英語教育 第16巻第5号

1975. 6 ジャンル別比較文学論 書簡体小説 英語教育 第24巻第3号

1976. 10 迷景ということ 図書新聞 第1334号

1980. 10 明治の青春—永井荷風の場合— 良書の友
 1982. 6 一冊の本をめぐって 夢想兵衛胡蝶物語 図書新聞

Ⅲ 専門誌・専門冊子論文

2000. 10 研究余滴 パッサージュ考
 『早稲田大学比較文学会ニューズレター』
2000. 11 関西とフランス—日本仏学史学会全国大会についての報告—
 『桃山学院大学総合研究所紀要』 Vol. 26 No. 2
2001. 1 耳で聴き楽しむポエム 『多羅』
2001. 8 リヨンとトラブールと永井荷風 『多羅』
2001. 12 ラ・コルスの小邑 『多羅』
2002. 4 プリュノワ城の女性支配人 『多羅』
2002. 8 放浪の記録 『多羅』
2002. 11 包丁を持って葡萄畑に立つ 『多羅』
2003. 4 カルティエ・ラタン断章 『多羅』
2003. 5 ベルジュラック付近
 『日本比較文学会関西支部ニューズレター』
2003. 8 運河と文学 『多羅』
2003. 12 予定 ビクピュスの墓地 『多羅』
2004. 3 予定 演劇の街に行く 『多羅』